

快・壮

1

免疫アップ!
笑いヨガ
DVD付録

手術なしで視界くっきり!老眼鏡なしで新聞が読めた!

老眼・緑内障の

視力が大幅にアップ!白内障、黄斑変性網膜症にズバリ効いた!革命的自力療法!

安保教授が太鼓判!DVD付録!

医師も実践!
笑いヨガで

血糖値、血圧が正常化!10キロ9キロ楽やせた!物忘れ、ひざ痛、うつが大改善!

女優の石井めぐみさんもバストアップ!

一分で大変身
耳たぶ回しで

小顔、シャープあげ、パッチリ目!シワ、たるみが消えた!くびれ出現!

腹いっぱい食べて激やせ!

テレビで大反響!
肉コンニャクで

727キロ13キロ10キロ速やせた!
72キロウエスト大縮小!メタボ脱出!

パワースポット神社を一挙公開!

人気風水師と陰陽師が伝授

神社参りで

150億の商談決定!離散家族が再集結!
15歳年下男子と幸せ婚!大開運!





アトピーや花粉症から糖尿病、肝臓病まで防ぎ治す

宮古島の薬草

ビデニス・ピロサは

珊瑚の土壌と太陽のパワーから生まれた
科学されたハーブだ

イラスト◎MS企画

宮古島のハーブ

「ビデンス・ピロロサ」は 抗アレルギー、抗炎症、抗酸化に有効

管理薬剤師

吉田悦子
よした えつこ

北里大学製薬学科卒業。現在、
皇漢薬品研究所に勤務。



宮古島で 見直された植物

沖縄本島と石垣島のほぼ中間に位置する宮古島。その豊かな自然と太陽の恵みがあふれる土地で育まれた、「ビデンス・ピロロサ」というハーブに、今全国から注目が集まっています。

ビデンス・ピロロサとは、亜熱帯から熱帯地域にかけて広く自生しているキク科のセンダングサ属の植物で、和名をタチアワユキセンダングサ、宮古島では「ムツウサ」といわれています。昔から熱帯・亜熱帯地域で

は、炎症性疾患、糖尿病、肝臓病、消化性潰瘍、リウマチ、感染症などに対する民間薬・伝承薬として使われていました。沖縄地方では、畑や道端などでよく見かけます。では、なぜ宮古島のものが格別に注目されているのでしょうか。その理由は、宮古島の自然にあります。

珊瑚礁の島である宮古島の土壌は、珊瑚化石が多く、本来、植物にとっては過酷ともいえる生育環境です。しかも、そこに自生する植物は、常に強い紫外線を浴び、台風によって、強い潮風にもさらされます。

一般に、紫外線にさらされている植物は、自らの身を守るために、組織の酸化を防ぐ抗酸化成分を蓄えています。降り注ぐ紫外線が強いほど、植物もそれだけ強力な抗酸化力を備えます。また、宮古島の植物の場合、海からの塩害にも負けない、なんらかの防衛機構を備えているとも考えられるのです。

栽培に関しては、過酷な自然環境そのままの条件の下、土壌作りから収穫まで一切の化学肥料や農薬を使うことなく、全て手作業で行なわれています。ハーブとしての薬理作用をも

たらす成分としては、カフェエタンニン類、フラボノイド類、ポリフェノール類などの化合物が確認されています。それらの成分の特徴や、これまでの実験から、ビタミンCやEに似た高い抗酸化作用を持つことが明らかになっています。

そうした点から、ストレスの多い人、タバコがやめられない人、お酒をよく飲む人などの健康維持効果が期待されます。

ビデンス・ピロロサの研究には、星薬科大学、北里大学、明治薬科大学をはじめとする全国の大学研究者や病院の医師が



栽培中のビデンス・ピローサ

かわっており、糖の代謝や、皮膚の炎症、血流、免疫などへの有用性も研究されてきました。

私たちの研究室でも、高血糖のかたに宮古島のビデンス・ピローサエキスを飲んでもらうという実験を行ったところ、血糖値が下がる傾向が見られました。また、閉塞性動脈硬化症を伴った糖尿病のかたにビデンス・ピローサを主原料とするお茶を飲んでもらうことで検査したところ、アディポネクチンというたんぱく質を優位に増加させ、

TNF α （アレルギン）というたんぱく質を減少させました。

アディポネクチンには、インスリンというホルモンの働きを高め、糖尿病を改善したり、動脈硬化を抑制したりするなど、さまざまな作用があります。これらの働きは、脂肪蓄積の抑制、心筋梗塞や脳梗塞の抑制などの効果をもたらします。

またTNF α は、インスリンの作用を減弱させ、血管壁に障害を起こして動脈硬化を引き起こします。

動物実験でも、インスリンを分泌する β 細胞を保護する作用があることが示唆されており、これらのことから、糖尿病をはじめとする生活習慣病への効果が期待されています。

アレルギー症状を 三段階で防ぐ

また、アレルギーに対する作用も見逃せません。

花粉症では、体内に入ってきた

アレルゲン（抗原）に免疫細胞が反応して抗体を作り、それがマスト（肥満）細胞と結合してヒスタミンという物質が遊離し、体のさまざまな部位に炎症を起こした結果、クシャミ、鼻水、鼻つまり、皮膚のかゆみなどの症状が現れます。

そこで、細胞や動物を用いた実験で、宮古島のビデンス・ピローサの花粉症に対するメカニズムを研究したところ、抗体の生成が抑制されることがわかりました。

また、マスト細胞からのヒスタミンの遊離を抑制し、同時にヒスタミンが受容細胞に結合するのを抑制することがわかりました。

つまり、ビデンス・ピローサは、三段階でアレルギーを抑制するというユニークな作用を持っているのです。

実際、花粉症の人に宮古島のビデンス・ピローサのエキスを飲んでもらったところ、プラセ

ボ（偽薬）を飲んだグループと比較し、高率で花粉症の症状の緩和が見られました。

また、動物実験や細胞実験により、宮古島のビデンス・ピローサには強い抗炎症作用、創傷治癒促進作用などが確認されています。

また、宮古島のビデンス・ピローサを主原料としたお茶については、血行改善効果があることも確認されており、アトピー性皮膚炎、生活習慣病の症状改善作用が見られることから、現在、複数の病院で試験的に用いられています。

このほかにも、宮古島のビデンス・ピローサには、活性酸素を打ち消す作用を持つ抗酸化物質が含まれていることがわかっています。活性酸素は糖尿病や炎症、動脈硬化など、さまざまな症状に関与しているといわれていることから、ビデンス・ピローサのこれらの症状に対する効果が期待されています。

手足の皮膚が割れて眠れないほどの 激痛が宮古島のビデンス・ピローサの お茶と足湯で解消

東京都●51歳●主婦 佐々木淳子

花粉症の症状も ほとんど出ない

一昨年の五月に、突然、手のひらと足の裏の皮がボロボロとむけ落ちてきました。そのうち水疱すいほうもたくさんできて、それがつぶれてオレンジ色の汁がジクジクと出てきたのです。それが



出がらしで足湯をしてみた

乾くと、今度は割れて、夜も眠れないほどの痛みでした。割れ目からまた汁が出て、それが乾いてまた割れて、こんなことをくり返してどんどん悪化していったのです。何かを握るたび、歩くとたびに割れるので、それもうつらいことでした。

皮膚科の薬は、患部の広がりをおさえるだけで、治す薬ではありませんでした。ただ、医師がいうには、「二〜三年で体質が変わってきて、自然に治ることもある」そうなのです。でも、いつ来るかわからない日を、悠長に待つ状況ではありませんでした。

それで、パソコンで「アレル

ギー」を検索してみました。すると、たくさん情報の中に宮古島みやこじまのビデンス・ピローサのお茶があったのです。花粉症やアレルギーに効いたというのを見て、すぐに取り寄せて、毎日それを飲むようになりました。

ティーバッグ一つで一週間くらい煮出して、それを一日かけて飲むのですが、飲み切らない日もあります。残りをまた翌日飲むのもどうかと思い、最初のころは捨てていたのですが、ある日、「これに足をつけてみたらどうだろう」と思いつきました。それで、洗面器に残ったお茶を入れ、さらに出がらしのティーバッグで再び煮出したお

茶を足して、足首近くまで水面が来るくらいの量にして、足湯を試みたのです。

二〇〜三〇分の足湯の間、手には出がらしのティーバッグを握り、左右交互にギュツギュツともんでいました。すると、二週間くらいで手のひらも足の裏も炎症が取れて、痛みが和らげられたのです。半年もしたら、手のひらはすっかりきれいになりました。足の裏はまだ少しボロボロの皮膚が残っていますが、歩いて、もう痛みもないのです。

「そんなひどい症状が、お茶でよくなるの？」と思う人もいるかもしれませんが、私の場合この宮古島のビデンス・ピローサ以外変わったことはしていません。だったので、お茶の効果としか考えられません。

また、昨年の春は花粉症の症状がほとんど出ませんでした。それもきっとビデンス・ピローサのおかげだと思います。

大掃除がきつかけの手の荒れが 宮古島のビデンス・ピローサで治り ステロイドも不要

東京都●38歳●会社員

やましたさちこ
山下幸子(仮名)

ステロイドを塗ると 治り、やめると再発

私の仕事は十〜十一月が忙しくて、その間は一日の休みも取れません。昨年も例年どおりの忙しさで、十二月に入りようやく休みが取れたので、キッチンの大掃除をしました。



テレビの時間にティーバッグを握った

一生懸命やったので、キッチンはとてもきれいになりました。でもそのかわりに、右手がひどく荒れてしまったのです。皮膚が洗剤に負けたのだと思います。手のひらの皮がむけて、かゆくてたまりませんでした。数日たっても手荒れは治まらず、ひどくなる一方でした。緊張するとかゆみがひどくなるり、接客をした後は必ずといっていいほどかきくずすので、悪化します。またなぜか、ボールペンを持つと当たる人差し指と中指の横腹も同じような症状になってきました。怖くてマニキュアも塗れないし、整髪剤もさわれないので、髪をまとめる

ことさえできなくなりました。会社にあつた軟膏なんこうでは少しもよくならず、皮膚科でもらったステロイドをつけると治つてきました。でも、ステロイドをやめて一週間もすると再発しました。それからは、ステロイドと再発のくり返しでした。

それがきれいに治つたのは、宮古島みやこじまで栽培されたビデンス・ピローサというハーブのお茶のおかげです。たまたま会社の人に「こんな状態で」と話したところ、「これ、飲んでみたら」とビデンス・ピローサのお茶をくれたのです。

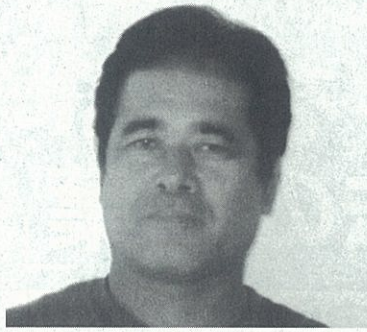
その人の友人も、重症のアレルギーで手の皮膚がひどい状態

だったのが、ビデンス・ピローサのお茶を飲み、出がらしのティーバッグで煮出したお茶に手をつけていたらよくなったそうです。それを聞いて、早速私も同じようにやり始めました。

まず、夜にお茶を煮出してポットに入れておいて、翌日会社を持って行って仕事の合間に飲むようにしました。そしてテレビを見ながら、煮出した後のティーバッグを五分間くらい右手で握つたのです。これを続けていたら、再発しませんでした。そして、ステロイドをつけたときよりもきれいになってきて、五週間ですっかり普通の状態になったのです。

二カ月たった今では、マニキュアも塗り、髪もまとめてすっきりしています。

毎年秋には、鼻がムズムズするのですが、それもありません。春には花粉症があるので、それがどこまで改善するのか今から楽しみです。



仕事も趣味も一生現役の勝連さん

海の仕事を冷えた体も 宮古島のビデンス・ピローサを飲めば ポカポカし疲れ知らず

沖縄県●50歳●シヌノーケルインストラクター・漁師 **勝連宗明**

「へえ、あのムツウサが そんなにいいんだ」

私は沖縄県の宮古島みやこしまで生まれ育って、現在も宮古島で生活しています。友人たちも皆同じで、それぞれが海や島の自然とかかわりながら生きています。その友人たちの中で、最近話

題になっているのが「ビデンス・ピローサ」です。友人の一人が、数年前から栽培を始めたのですが、もともとは、私たちが子供のころから道端で見えた「ムツウサ」という草です。それを煎じて飲むと体にいいというので、私も二年くらい前から飲むようになりました。最初にムツウサの話聞いたときには、「へえ、あれがそんなにいいんだ」と、ちょっと驚きました。でも、いわれてみれば、昔から年寄りたちが煎じて飲んでいたようです。

また、友人がやっているビデンス・ピローサの畑は、道端に生えているムツウサと違い、土壌の管理から栽培方法まで、かなり厳しくやっているので、それを見ただけでも品質のよさがわかります。そのうえ、昔と違い、今ではティーバッグで飲みやすい形にしているので手軽です。毎朝、一盃くらい沸かして、湯飲みで一杯飲み、残りはポットに入れて持って出て、船の上で飲みます。長い時間海に潜った後は、体が冷えているのですが、このお茶を飲むと体がポカポカしてきます。

私はもともと丈夫なほうで、カゼもひいたことがありませんでした。ところが、ビデンス・ピローサを飲む少し前に、高熱を出して一週間寝込んだので、体力に自信があっただけに、体の衰えを感じました。友人がビデンス・ピローサを勧めてくれたのも、私が疲れて見えたからかもしれません。今では、ビデンス・ピローサを飲み始めてよかったと思っています。あれ以来、熱も出ませんし、以前よりも疲れにくくなっていくような気がします。以前は、コーラばかり飲んでいたので、今はビデンス・ピローサばかりです。後味がさっぱりして、今ではコーラよりずっとおいしく感じます。

私は、二十代からずっと趣味でバレーボールをやっていて、三十一歳で引退をしてからは、バドミントンを楽しんでいきます。バドミントンの練習は、週に二〜三回です。こうした楽しみも、健康でなければ続けられません。仕事も趣味も、一生現役でいたいので、これからもビデンス・ピローサは欠かさず飲んでいこうと思っています。